

部門紹介 ～リハビリテーション科～

理学療法士 最上 佳央 理

今回は、リハビリ職種の中から、理学療法士の紹介をさせていただきます。

理学療法士は、起き上がる・座る・立つ・歩くなどの日常生活を送る上で最も基礎となる動作のリハビリを行っています。

当院には回復期リハビリテーション病棟というリハビリに特化した病棟もあり、そこではより多くのリハビリを行うことが出来ます。国の定めた一定の条件に合った脳卒中などの後遺症により身体が動かしにくくなった方、整形外科疾患や、手術で体力や心肺機能などが低下した方々の回復のお手伝いをしています。もちろん急性期病棟に入院された方の早期からのリハビリも大切です。



訓練では、患者様ひとりひとりの状態を見ながら、筋力やバランス能力などの向上のための機能訓練や、座位・立位や歩行の動作練習を行い、より安全で安定した動作を獲得できるように目指していきます。4階のリハビリ室には歩行練習用の平行棒や練習用の階段、模擬のトイレ・浴槽などがあり、より実践的な動作練習が行えるようになっています。

また、患者様ごとに適した装具や杖などの歩行補助具を選定したり、回復期リハビリテーション病棟に入院中の患者様のご自宅へ出向いて家屋改修に向けてのアドバイスも行っています。リハビリを行う際には、医師や看護師、作業療法士や言語聴覚士といった他職種と話し合いをしながら、それぞれの患者様のゴールへ向けてリハビリを行っています。



当院のリハビリ科には18名の理学療法士が在籍しています。若い年齢層のスタッフも多く、和やかな雰囲気の中で訓練が行われています。理学療法士という立場上、患者様へ指導を行う場面も多いですが、人生の大先輩である患者様方から学ばせていただく事も多く、訓練の合間の休憩中に色々なお話を聞かせていただくのが楽しみであったりもします。



当院を退院し、元気な姿でリハビリ室に顔を出しに来て下さる患者様も多く、明るい表情で近況報告をして下さるのを聞く時は、理学療法士をしていて良かったと思う瞬間でもあります。

これからも、
患者様やそのご家族に寄り添い、
家庭や社会への復帰のお手伝いができるよう
理学療法士一同頑張って
まいります。

